

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

今年度、四日市版コミュニティスクール「羽津小学校運営協議会」が発足し3年目をなりました。学校・家庭・地域と連携し、学校教育の充実を図るとともに、学校教育目標「豊かな心で 共に学び続ける子の育成」と開かれた学校づくりの推進を進めてきました。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

○読書活動支援

読書活動の一つとして、図書ボランティア「まざりいず」に参加していただいています。今年度のメンバーは12名です。読書週間中には各学級を回っての朝の読み聞かせがあり、いきいきタイム(20分休み時間)を活用した定期的なお話会活動も実施していただきました。また、PTA役員と連携した読み聞かせ会も実施し、「まざりいず」による本のブリビオバトルはとても好評でした。



また、今年度も図書委員会活動の一つとして、委員会に児童による新書の選定を行いました。PTAと連携し、費用を負担していただいています。自分たちが選んだ本があることで、図書室にある本がより子ども達にとって読みたい本に出会える場所になりました。

○地元伝統産業「万古焼」に関する体験活動

毎年、1・3・5年が地域の伝統的産業の万古焼作品づくりに取り組んでいます。3学期は一人一人の作品を校内作品展に出品し、保護者の方に見ていただきました。



また、今年度は「ばんこの里会館」にて、4年生が1月に陶ひな絵付け体験をさせていただきました。いろいろな学年で、万古焼にかかわることで地域の伝統産業への関心を高めることができました。

○園芸・栽培等体験的活動の充実

日常の学習活動に栽培体験を取り入れた食育に取り組んできました。栽培や収穫の経験は、働くこ

との喜びを味わうことができます。

また、今年度も食べることはできませんでしたが、収穫した作物を家庭に持ち帰り、どのように料理したかをまとめ、子ども達どうして交流しあいました。

地域のまちづくり推進協議会よりいただいた花の苗を、環境委員会が中心となり、移植及び管理を行っています。

○地域の方から学ぶ活動の充実

3年生では地域の消防団の方々をお招きし、また地元の阿倉川交番の警察官の方にも来校していただき、私たちの暮らしを守るために日々活躍されている方々のお話を聞かせていただきました。



昨年度より、4年生では地区市民センターや羽津地区防災協議会の方々を講師に、防災学習に取り組みました。本校に設置されている防災倉庫の中を見学させていただきました。そして、簡単な防災グッズの作成も行いました。これらの活動を通して子ども達一人一人の防災に対する意識を高めることができました。



6年生では6年生では羽津地区のまちづくり推進協議会やNPO法人緑の会の方をゲストティーチャーに招き、竹灯りの製作を行った。そして、地域の祭りにもその作品を出品した。

○横断旗講習会および交通少年団入退団式の実施

例年、登校班の新しい班長さんや副班長さんが決まると、横断旗の使い方の講習会を各地区の町代表さんから、指導していただいています。さらに立哨をされている方へのあいさつや感謝の気持ちを伝えることの大切さを考える機会となっています。



また、3月には交通少年団の入退団式を5・6年生を対象に行いました。これまで班長として活躍してきた6年生から、これから班の中心となって活躍する5年生にバトンを渡されました。

こういった機会を通して、高学年としての自覚や交通安全についての意識を高めることができました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

地域の方を外部講師として招聘したり、図書ボランティアの方に読書活動の学習支援として協力し

ていただいたりするなど、保護者や地域の各種団体等と連携し、学校教育活動を展開することができました。さらに外部講師による体験活動では、その方の思いや願いにもふれることができ、より学習内容を深めることができました。

3 今後に向けて

コミュニティスクールの指定を受けたことで、より地域団体や地域・保護者の方々と連携した取り組みを進めることができました。

また、コミュニティスクール運営協議会の際には、学校教育ビジョンの取り組みや学校評価の結果について説明させていただいたり、子どもたちの活動の様子を参観していただいたりすることで、教育活動について率直なご意見をいただくことができました。今年度は読書のことや登校班のことなど本校や羽津地区が大切にしてきた取り組みについて評価していただきました。また PTA をはじめ、地域で子ども達の成長を見守り、育てようという意識が羽津地区には根付いているとのご意見もいただきました。

これからも学習支援をはじめ、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにある学校」を目指していきます。

